

# LM corsa

60

MOTOR SPORTS

GT300



A.Iida



H.Yoshimoto

MOTOR SPORTS × INGING MOTORSPORT

RESULT リタイア

WEATHER 13日:晴れ/ドライ

ENTRY 29台 出走:28台

CAR SYNTIUM LM corsa RC F GT3

## General comment

AUTOBACS SUPER GTシリーズの第8戦、「MOTEGI GT GRAND FINAL」がツインリンクもてぎで開催された。今回はシリーズ初の試みとして、1大会2レース開催を実施。土曜日のうちに1レース終え、まさにサーキット中が余韻を残したまま、あらためて今季最後の戦いに挑むこととなった。

LM corsaが飯田章と吉本大樹に託した「SYNTIUM LM corsa RC F GT3」こと、レクサスRC F GT3は、土曜日の第3戦代替レースにおいて、予選では今季最上位となる20番手を獲得し、ややサバイバルゲームの様相を呈した決勝レースをしびとく戦い抜いて、予選と同じ20位でフィニッシュした。この結果にスタッフ一同、大いに湧いたのは言うまでもない。だが、気持ちは即座に最終戦へとスイッチ。現在のマシンでレースを戦うのは、これが最後になる。2年間、苦勞に苦勞を重ねてきたマシンには、誰にも深い思い入れがある。ラストランを花道とすることを強く願っていた。



## 予選結果 24th ( 1'35"575 )

前日同様、予選は早朝に行われて15分の本勝負。なお、同じドライバーが連続して予選に挑んではならないため、今回のアタック担当は吉本となった。天候に恵まれ、まさに絶好のレース日和。爽やかな秋晴れの中の走行となった。

セッション開始と同時に「SYNTIUM LM corsa RC F GT3」は、走行を開始。吉本は入念にウォームアップを行なっていく。アウトラップだけでなく、2周も加えてからアタックをスタートする。まずは1分49秒236を記録して、次の周にも果敢に吉本は果敢にコースを攻め立てた結果、1分49秒140にまで短縮することとなった。

目標タイムが出せたこともあり、チェッカーを待たずに走行を終了。前日とは異なり、完全なドライコンディションであったため、上位とのタイム差は大きく、24番手、12列目から決勝に挑むこととなったが、しっかり完走を果たし、なおかつじわじわ順位を上げていくことが期待された。





決勝結果 リタイア (3 laps) 

土曜日にも23500人もの観客を詰め込んだ、ツインリンクもてぎであったが、日曜日ともなると36000人もの集客を集め、特にホームストレート脇に設けられた特設スタンドは超満員。スターティンググリッドにも、熱気が伝わってくるほどだった。

この日も決勝のスタート進行の開始と同時に行われる、ウォームアップは15分間で実施。やはり「SYNTIUM LMcorsa RC F GT3」は、スタート担当の吉本が2周だけ計測走行し、タイヤの温存をはかる。さまざまなセレモニーが行われた後、13時37分に熱戦の火ぶたが切られることとなる。

オープニングラップのうちに吉本はひとつポジションをアップ、しかも前の車両にピタリと着いて、いつでも隙を見れば抜いてやるという、強い意志すら感じられたほどだった。しかし、その思いは意外な形で、断ち切られてしまう。4周目のヘアピンで後続車両にインから差し込まれ、両車はコースアウト。ひどくダメージを負いながらなんとかピットに戻ってきたが、修復は不可能との判断により、チームはリタイアを決意せざるを得なかった……。



完走第一と、手堅く走り続けることを望んでいたのに、まさかレース序盤で戦列を離れる羽目となるとは。特に現在のレクサスRC F GT3でレースするのは今回で最後だから、たとえ結果が伴わなくてもチェッカーを受けて、花道を飾ってもらいたいというのがスタッフの総意だった。しかし、ドライバーのふたりは嘆くより先に、メカニックたちに感謝の言葉を贈った。この2年間、どれだけ苦労して、そして努力してきたかを理解していたからだ。

ここから先はLMcorsaによる、新たなプログラムがスタートする。そして来シーズンも確実にサーキットに戻ってくる、絶対的なパフォーマンスを秘めて。ぜひ期待していて欲しい!





## Director's comment



チーム監督

小林 敬一

Keiichi  
Kobayashi<http://www.koba-pla.net/>

なんとその後味の悪い、残念な幕切れになってしまいました。あつてはいけないというか、信じられないことが起きたんでね、こればかりは……。今はどこに怒りを持っていけばいいのかな、という感じですよ。話を聞いていたら、吉本の後ろにいて、ブレーキングで入れそうだったからって、信じられないですよ。吉本のインを刺そうと思ったら、それなりのスキルがないと不可能です。本当に残念でなりません。でも、来年は必ず今より強いクルマに変わるので、そういった意味では初年度のような渋い予選、渋いレースとか、久々にできると思いますので、ご期待ください。

## Driver's comment 1



ドライバー

飯田 章

Akira  
Iida<http://akira.jp/>

話せることは何もありません(苦笑)。いや、実際に決勝では僕は何もできませんでしたから……。応援してくれた方には、本当に申し訳なく思います。しっかり完走して、シーズンの締めくくりとしたかったんですけどね。この1年間、応援ありがとうございました。そして、チームスタッフ、メカニックのみんなにはすごく感謝しています。いろんなことが起きて、苦労させてしまったけれど、そのつど対処してくれました。本当はしっかり完走して、チェッカーを受けた後に「ありがとう」って言いたかったんだけど、それができなかったのが残念です。

## Driver's comment 2



ドライバー

吉本 大樹

Hiroki  
Yoshimoto<http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

悔しいです。しかもよりによって相手が、お世話になっている方なので……。残念でした、締めくくりがこんな形で。まあ、これもレースですよ。来年からは本当に、レースをしに来られると思うので、来年に向けてここから気持ちを入れ替えて準備していこうと思います。ここまで大変なことしかなかったのに、本当にみんな頑張ってくれたので、結果には結びつかないけど、やってきたことがすべて意味のあったことだと思います。今後にも生きてくるでしょうし、さらに強いチームになってくれると信じています。

